

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

		結核住民検診			
担当部署・課長名	健康	課	予防	係	課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実		総合計画書 (ページ)	47	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 1 予防事業費
-----	---------	-----------	---------	------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	①18~65歳の市民 ②65歳以上の市民	①18~64歳人口(4月1日現在)平成28年度から ②65歳以上人口(4月1日現在)
	→	
② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)	
検診受診者が結核感染の有無を知り、感染等異常が発見された場合は早期に対処することで、他者への感染を防ぎ、健康が保持される。	①18~64歳の有所見者数 ②65歳以上の有所見者数	
→		
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
・レントゲン車による、胸部レントゲン間接撮影 4回/年 ・有所見者への受診(再検査)勧奨	①18~64歳の受診者数 ②65歳以上の受診者数	
→		

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	①人 ①49,187 ②人 ②21,957	①49,491 ②22,350	①49,258 ②22,711		
	成果指標	②の数値	①人 ① 1 ②人 ② 18	① 1 ② 10	① 3 ② 21		
	目 標	②の目標値			27	27	27
		目標値設定の考え方	受診者300人を目標とし、有所見者出現率を過去3年の平均値9%と考えた。				
活動指標	③の数値	①人 ① 31 ②人 ②222	① 40 ②155	① 34 ②135			

3 経費	事業費(実績)	円	388,800	404,790	445,858	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源					
	一般財源	円	388,800	404,790	445,858	
	特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)					
所要人数(再任用以外)	人	30.0	30.0	30.0		
所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
職員人件費(再任用以外)	円	126,000	126,000	126,000		
職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費	円	514,800	530,790	571,858		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	結核予防法(昭和26年)の基づき開始され、現在は感染症法(平成11年)に基づき実施されている。全国では年間約2万人の新規患者登録があり、若年層における結核感染もみられている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	平成17年度より、結核受診対象者が65歳以上となった。平成28年度は、18歳から64歳を対象とする日程を1回設定し、29年度は18歳以上に変更し65歳以上も受けられるようにした。

仕 事 の 内 容	結核住民検診				
担当部署・課長名	健康	課	予防	係	課長名 志村 明子

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	なし				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
なし					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者が減少傾向にあるため、会場の工夫が必要である。</li> <li>検診車の最新型への変更により、30年度から検診1回あたりの委託料単価が増額しが、1回あたりの検診可能人数が増加したため影響はなかった。</li> </ul>				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>受診者数の増加を図るため、平成30年度は試行的にイトーヨーカドー東大和店を会場とした。</li> <li>受診者数が減少する夏や冬の開催を減らし、温暖な季節に開催した。</li> <li>清原市民センターの実施日を人が集まりやすい曜日に設定したことで、当会場での受診者が増加した。</li> </ul>					
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>イトーヨーカドーは、31年度についても会場の調整をしたが、直近にならないと会場確保ができず、検診車の確保がそれには対応ができないことから、会場としては断念した。</li> <li>1回あたりの受診者数を増やすため、周知方法を工夫する。</li> </ul>					
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回あたり受診者数の増を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①65歳以上の日程を2回、18歳以上の日程を2回とし、高齢者の受診機会の確保を図る。</li> <li>②高齢者が出掛けやすい温暖な時期に実施する。</li> <li>③乳幼児健診の機会に結核検診の機会の乏しい保護者に対して事業の利用をPRする。</li> </ul> </li> </ul>				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>チラシ配布等による周知の効果を高めるために年度の早い時期に作成し配布する。</li> <li>高齢者が利用する施設など、高齢者の目に付く場所にポスターを掲示する。</li> </ul>				
(3)改革・改善案による期待成果					
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。